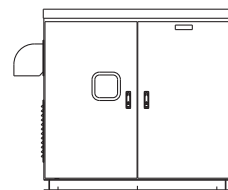


大切な「水」をあなたへ…… ● 川本ポンプ

キュービクル型
消火ポンプユニット

セフティーエース

K T - W 形 取扱説明書



このたびは、K T - W形キュービクル型消火ポンプユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、工事店様が正しく安全に作業されるため、および防火対象物の関係者の方が保守・点検などをされるためのご案内です。よくお読みになり、内容を理解された上で作業されるようお願いいたします。

尚、ポンプカバー内のポンプユニットに関しては、別途付属の取扱説明書をご参照ください。

また、常にこの取扱説明書をお手元におかれて作業されることをお勧めします。

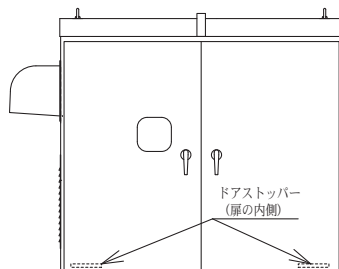
< 目 次 >

1 はじめに	2	4 据 付	4
2 仕 様	2	5 電気工事	6
3 製品の構成	3	6 消耗部品	7

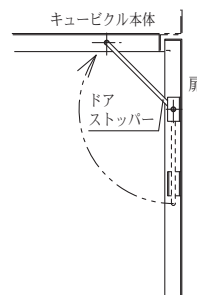
▲ 特に注意していただきたいこと

- 据付、配管、電気工事は甲種消防設備士の指導により「消防法」に基づいて行ってください。誤った据付、配管、電気工事により、火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。
- 防火対象物の関係者は有資格者により、「消防法」で定められた試験・点検を必ず実施してください。定期点検を怠ると火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。
- 不良箇所の調整・交換は、甲種消防設備士または乙種消防設備士によって行ってください。上記を守らないと火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。
- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
- 電気工事は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従って確実に施工してください。配線、接続に不備があると、漏電や火災の原因になります。
- ヒーターの発熱部には直接触れないでください。火傷をする恐れがあります。
- ご使用環境に応じた期間で補修塗装を実施してください。
ネジ部、防錆剤を塗布した加工部、錆止め塗装部などは、高湿度・結露・被水などのご使用環境で発錆し、思わぬ被害の恐れがあります。
- 換気扇などの回転体には手を触れないでください。けがをする恐れがあります。
- 扉を開いての作業は、必ず開けた扉をドアストッパーで固定してから行ってください。
(下図参照) 強風などにより扉に押され、けがをする恐れがあります。

< ドアストッパーの位置 >



< ドアストッパーの使い方 >



- ポンプカバーの扉は中に人がいないことを確認の上、閉めてください。誤って閉じ込められる恐れがあります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲危険：人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じると想定される内容。

▲警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

▲注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

1 はじめに

ポンプがお手元に届きましたら、下記をお調べください。

1. ご注文通りのポンプか、銘板を見てご確認ください。形式、口径、全揚程、定格出力など
2. 輸送中に破損した箇所や、ボルト・ナットなどのゆるみはないか、ご確認ください。
3. ご注文の付属品が全てそろっているか、ご確認ください。

[注記]

1. ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。
2. 本製品は、日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
3. 適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物・砂など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。
4. 弊社にお問い合わせの際は、『形式』及び『製造番号』をご連絡ください。
5. 不要な部品及び梱包材などの廃棄方法については、各自治体にご確認ください。
《不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご照会ください》

2 仕様

▲ 警告

- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電や火災、漏水などの原因になります。

▲ 注意

- 用途や液質により発錆や腐食・溶出を許容できない場合は注意が必要です。ポンプや設備全体を含め選定・検討してください。思わぬ被害の恐れがあります。
- 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使うと事故の原因になります。
- 危険・警告・注意ラベル類には人身への危害または財産への損害を引き起こす可能性のある事項が記載してありますので必ず遵守ください。守らないと機器が故障したり感電、火災、けがなどの原因になります。

この消火ポンプユニットは、東京消防庁の適合品です。

用途	消火用
液質、液温	清水※ pH5.8～8.6 / 0～40℃（但し、凍結なきこと）
設置場所（周囲温度/湿度）	屋外（0～40℃、90%RH以下、標高1000m以下）

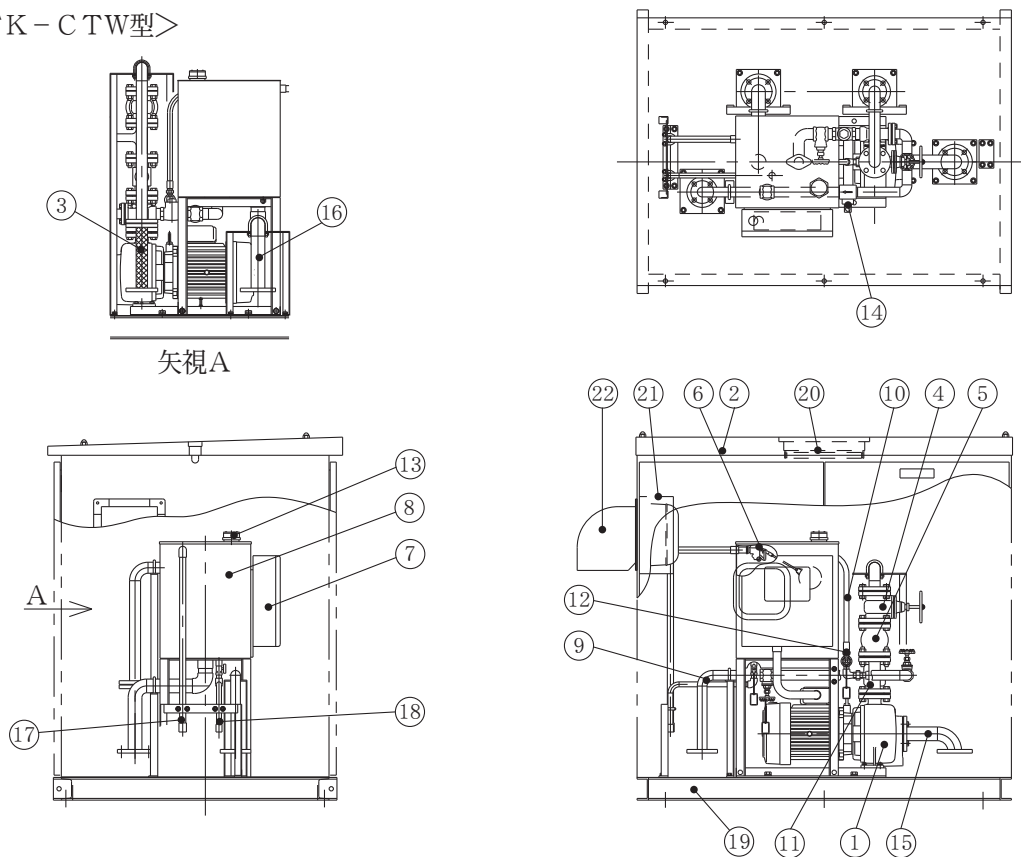
※：清水とは、水温0～40℃、pH5.8～8.6、塩素イオン濃度200mg/L以下、固形物・濃度50mg/L以下、固形物・径0.3mm以下を意味します。

3 製品の構成

3.1 キュービカル型消火ポンプユニット構造図

本図は代表を示すものであり、機種により本図と異なるものもあります。

<KTK-CTW型>



No.	名称	備考	No.	名称	備考
1	ポンプ		12	オリフィス	常時逃し用
2	ポンプカバー		13	電極	満減水警報用
3	可とう管		14	流量計	直読式
4	スルース弁	インジケータ付	15	吸込用配管	
5	チェック弁	バイパス付	16	オーバーフロー管	
6	ボールタップ	φ13 (1/2)	17	給水用配管	
7	制御盤	ECKD形	18	呼水槽ドレン配管	
8	呼水槽	容量50L	19	ベース	
9	性能試験配管		20	蛍光灯	
10	逃し配管		21	制御盤	ECHB形
11	連結管		22	換気扇	

4 据 付

▲ 警 告

- 適用される法規定（電気設備技術基準・内線規程・建築基準法等）に従って施工してください。法規定に反するだけでなく火災やけがの原因になります。
- 据付、配管、電気工事は甲種消防設備士の指導により「消防法」に基づいて行ってください。誤った据付、配管、電気工事により、火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。
- 水道管に直接配管しないでください。水道法により禁止されています。また、水が逆流して水道水が汚染される恐れがあります。
- 荷下ろし、搬入、据付で本製品を吊り下げる場合は、カタログ、据付図にて質量を確認、取扱説明書にて吊り方を確認の上、正しく行ってください。また、吊り具の定格荷重以上の製品は吊らないでください。吊り下げが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。
- 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。基礎の上に水平に設置し、基礎ボルトで固定してください。据付に不備があると漏電・感電・火災、落下・転倒によるけがの恐れがあります。また、振動の原因になります。
- 樹脂、ゴム部品は現場焼却しないでください。燃やすと有害なガスが発生する恐れがあります。処理方法は各自治体にご確認ください。
- ローソク、たばこ、炎、火花などの火気を近付けないでください。火災の恐れがあります。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。火災の恐れがあります。

▲ 注 意

- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
- 機器に衝撃を与えたり、転倒させないでください。破損する恐れがあります。
- 設備によっては吐出側に用途に応じた適切なフィルタなどを設け、十分フラッシングを行い、異物がないことを確認後、使用ください。製品製造時の切削油、ゴムの離型剤、異物などや配管系に含まれる切削油、異物などが扱い液に混入する恐れがあります。
- 機器の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。機器の破損や転倒してけがをする恐れがあります。
- 故障などの警報はブザーなどを設け確認できるようにしてください。故障発生時、気が付かず重大事故につながる恐れがあります。
- 制御盤への穴加工等の改造はしないでください。加工をして部品に切り屑・鉄粉などが付着すると故障や火災の原因になります。
- 制御盤内に付属品以外の物を入れないでください。火災が発生する恐れがあります。
- 水平で安定した場所に設置してください。傾いていたり不安定な場合、各水位の動作に不具合を生じる恐れがあります。
- 配管のネジ部にはシール剤を使用して、水漏れのないように確実に施工してください。確実に施工できていないと水漏れの原因になります。
- 据付、点検などの作業を行う前に、周辺を整理してください。滑ったり、つまずいたりして、けがをする恐れがあります。
- 梱包は釘やホッチキスの針などに注意して開梱してください。けがをする恐れがあります。
- 本製品を包装しているビニール袋をかぶらないでください。窒息の恐れがあります。
- 点検時以外はバルブ類の開閉は注意札に従ってください。正常に動作できずユニット破損の恐れがあります。
- ポンプカバーの扉は中に人がいないことを確認の上、しっかりと閉め、必ず施錠をしてください。施錠をしていないと強風などにより扉が開き、変形、破損の原因となります。

●換気孔を塞いだり、換気孔の付近に物を置かないでください。故障、発熱の原因になります。

4. 1 据付時のご注意

(1) 搬入・移動の際は、〈図-1〉のように、ベースの吊り上げ用穴（4箇所）にシャックルなどを掛けて4本吊りしてください。そして、吊り具で製品を破損させないように、天ビン棒を用いる等して吊り上げて下さい。

カバーに吊り具を掛けての吊り上げは絶対に行わないで下さい。カバーが変形、破損し落下の恐れがあります。

尚、ポンプカバーと吊り具が接する所には、枕木等をあてるようにしてください。

(2) 基礎は地震などに耐えるしっかりとした基礎で、水平であることを確認してください。

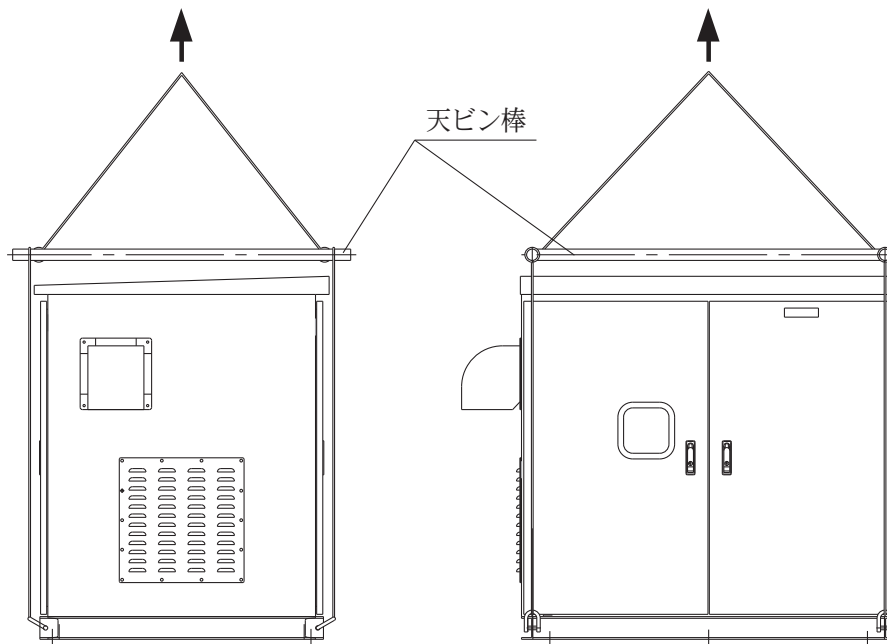
(3) 水平に据付け、基礎ボルトでしっかりと固定してください。

基礎が水平でなく凹凸があると、ベースがねじれ故障の原因になります。

(4) フランジ部のボルトは、輸送中の振動等で緩んでいる場合があります。

据付後は、フランジ部の全てのボルトの緩みを確認してください。

緩みのあるボルトは、お手数ですが、もう一度増し締めをしてください。



〈図-1〉

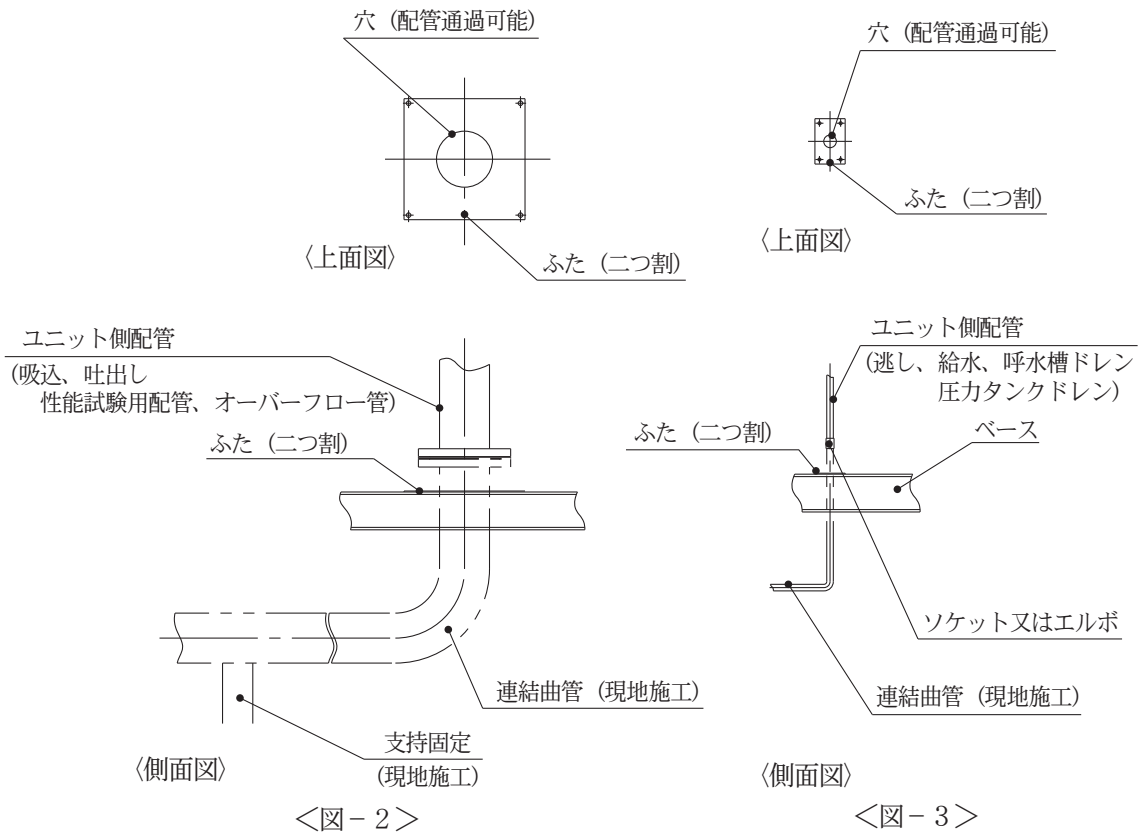
4. 2. 配管貫通部

4. 2. 1 吸込、吐出し、性能試験用配管、オーバーフロー管：〈図-2〉をご参照ください。

(1) ふた（二つ割）を取外し、連結曲管をベース下から挿入して、ポンプユニット側配管に取付けてください。

(2) フレキ等を使用し、支持固定をして、ポンプに荷重がかからないようにしてください。

4. 2. 2 逃し、給水、呼水槽ドレン、圧力タンクドレン：〈図-3〉をご参照ください。
 (1) ふた（二つ割）を取外し、配管をベース下から挿入してポンプユニット側のソケット、又はエルボにねじ込み取付けてください。



4. 3. 配管施工に関する留意点
 別途付属のポンプユニットの取扱説明書を参照してください。

5 電気工事

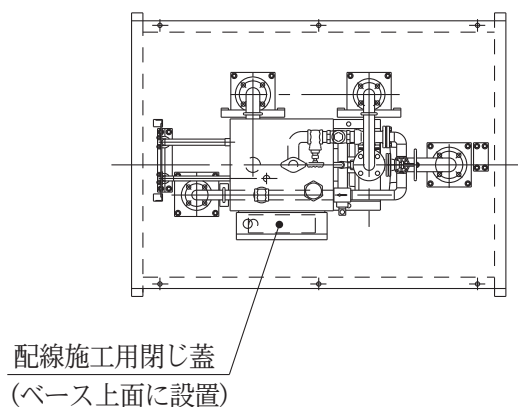
▲ 警 告

- 電気工事は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従って確実に施工してください。配線、接続に不備があると、漏電や火災の原因になります。
- 接地工事は通電前に必ず行ってください。アース線を確実に取り付けないで運転すると故障、漏電・感電・火災の原因になります。また、アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しないでください。アースが不完全な場合、感電する恐れがあります。
- タコ足配線（複数の電気機器を接続）は避け、専用配線にて施工してください。漏電・感電・火災の原因になります。
- 配線作業などで取り外した端子カバーは必ず元通りに取り付けしてください。感電やけがの恐れがあります。
- 電源プラグ・配線接続部・結線部・端子部などのほこりを除去してください。ほこりの付着などを放置すると発熱し、火災の原因になります。
- 電源投入前に配線接続部・結線部が緩んだり外れたりしていないか、確認してください。一箇所でも緩んだり外れたりしていると、火災・感電の原因になります。
- 据付、配管、電気工事は甲種消防設備士の指導により「消防法」に基づいて行ってください。誤った据付、配管、電気工事により、火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。

▲ 注 意

- 電源ケーブルや制御線を同一管内またはダクト内に併設させないでください。本製品や他の機器が誤動作する恐れがあります。

1. <図-4>の配線施工用閉じ蓋を取り外し、電源線を接続してください。
ポンプカバー用制御盤（E C H B形）はR、S端子に、ポンプ用制御盤（E C K D形）はR、S、T端子に接続してください。
2. 制御盤内にアース端子（M4）がありますので、200V機種はD種（第三種）以上、400V機種はC種（特別第三種）以上の接地工事を行ってください。
尚、アース線を扱われる場合は、元の電源を切ってください。
3. ポンプユニットの制御盤に関しては、別途付属の取扱説明書を参照ください。



<図-4>

6 消耗部品

▲ 警 告

- 消耗部品の交換は、甲種消防設備士または乙種消防設備士によって行ってください。
誤った交換により火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。

以下の表の部品は消耗部品です。交換時の目安を参考にして部品を交換してください。

部品名	交換時の目安	状態の目安
ヒーター	10年	電気特性に異常がみられるとき
換気扇	15年	騒音、振動の発生及び著しい腐食・発錆・損傷がみられるとき
蛍光灯（LED）	10年	点灯状態に不具合が生じたとき、電気特性に異常がみられるとき

表中の交換時期の目安は期間内の正常な動作を保証するものではありません。ご使用状況によっては交換時期が早まる場合がございますのでご注意ください。

MEMO

その他運転・保守・点検・故障の原因と対策等に関しては、別途付属の取扱説明書を参照してください。

故障には予想外なことがあります。異常を発見したら速やかに対策することが大切です。
故障の原因が分からないときは、ご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
ご連絡の際は、ポンプの形式、製造番号、故障（異常）の状況をお知らせください。

 コンフォート アース
Comfort Earth[®] 水を通して 地球環境を 考える

株式会社 **川本製作所** <https://www.kawamoto.co.jp>

本 社 〒460-8650 名古屋市中区大須4-11-39
☎052-251-7171 (代)

岡崎工場 〒444-8530 岡崎市橋目町御領田1
☎0564-31-4191 (代)

検査合格証 株式会社 川本製作所	検査 検査 責任者
---------------------	-----------------